

同志社中学校 さま

ソーシャルベンチャー企業と地域づくり
について一緒に考え行動しよう！

2021年6月
Creative Service Kingdom 株式会社
学生プロジェクトリーダー
同志社大学3回生
上谷貫太

上谷 貫太(うえたに かんた)

大阪府出身

同志社大学社会学部社会福祉学科三回生

CSK株式会社 PJリーダー



高校まで約10年間野球に取り組みました。中高でピッチャーとしてプレーしていました。

大学では、社会福祉を学んでますが、アルバイトも社会勉強になる。

(居酒屋、スターバックス等)

社会起業家という職業に惹かれ、ソーシャルビジネスに興味を持ち、社会課題の解決に取り組みたいという思いから、現在、現役大学生である野田 蛍太が代表取締役を務めるCSKでプロジェクトリーダーとして活動している。

- CSKって何してるの？
- CSK 3大事業
- 車椅子ルートマップって何？
- 車椅子ルートマップの特徴
- 京都(河原町駅周辺)の現状
- 中学生だからできる！プロジェクトについて
- 実績
- 質疑応答
- 本日のディスカッション

本日ディスカッションしたいこと

○SDGsって知ってますか？

○京都河原町でコラボしましょう！



ポスターのキャッチコピー
作成

○NFCタグを使って、何ができる？



ポスターにNFCタグを付け
どう使うか考える

**NFCタグ：特定の情報をスマホに伝える技術！
地域の店の情報を携帯をかざすだけで得れる。**

CSK株式会社が目指す・創るもの

産官学民で強く健康な地域づくりを目指し
ソーシャルインクルージョンを実現する。

⇒ SDGs地域共感インストラクターの育成・車椅子ルートマップの完備



学生

社会起業家の輩出



大学

地域社会との繋がり

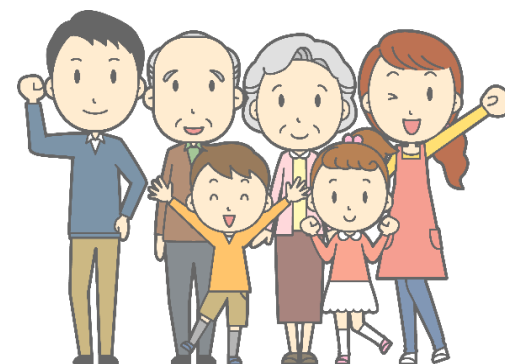


企業



行政

地域包括支援



悩める若者、ネット社会、地域過疎化

学生のアイデアとバイタリティーで新しい時代を！

みなさんが思う社会起業家とは？

同志社中学が考える社会問題とは？

社会はどのように変化していくと思う？

CSK事業の3本柱

神戸市との連携プロジェクト

兵庫ダイハツ販売株式会社
百貨店イベント

車椅子
ルートマップ
の普及

資格ビジネス

- ・携帯型心電計測定普及士
- ・SDGs地域共感インストラクター

伝心電
サービス

中学生だからできる！
プロジェクト

自治体からの後援

神戸市区役所、京都市

産官学民
連携事業

大学連携
関西SDGsプラットフォーム

健康創造都市KOBEBE推進会議

しあわせの村健康倶楽部
日本有数の【何でもアリの総合福祉施設】

車椅子ルートマップ

○車椅子ルートマップ

- ・駅を中心に半径500mの安心安全ルートを案内できるマップ。
- ・車椅子利用者だけでなく、ベビーカー・キャリーバッグを引く人、ご高齢の方も使える。
- ・AEDや携帯型心電計、避難所などと連携し、有事の際にも有用なマップ。
- ・マップ作成は郵便局の皆様と連携。地域を良く知る方々の配慮のもと作成。
- ・国土地理院の正式な地図を使って、写真を貼ったり、加工したりすることができる。
(地図の2次利用)



QRを読み取りGPSで誘導。

車椅子ルートマップの強み

車椅子利用者の駅周辺500mへの完全アクセスを可能にするマップです！



★特徴★

- ・東京メトロ180駅・神戸周辺140駅
横浜6駅・その他 計360駅に普及中
- ・日本身体障害者団体連合会のHPにも掲載
(<https://www.nissinren.or.jp/org.html> 車送ナビ)
- ・WMG2021関西のプログラムに認定
(TUNAGUプログラム)
- ・神戸市さまとKOBE学生地域貢献スクラムで連携
- ・SDGs11.7の事業認定取得済み
(日本SDGs協会様より)



車椅子ルートマップ制作活動 第1号認定 2018.12.11
日本SDGs協会事業認定(11.7)



京都河原町車椅子ルートマップ

京都河原町駅周辺 車椅子ルートマップ「車送ナビ」

後援：京都市役所

※坂や段差が少ないルートが写真付きで案内されます

コードをよみとる

無料で使える

わかりやすい

かんたん

まよわずいける

市役所、病院、郵便局などルートがわかる

下記コードをスマホで読み込んでください

私たちはこの活動を応援しています。

車椅子ルートマップ製作活動 第1号認定 2018.12.11

日本SDGs協会事業認定(11.7)

このポスターに関するお問い合わせはweb@csk2.net
担当者：野田 まで(Creative Service Kingdom株式会社)



大阪駅と京都河原町との比較

大阪では、エレベーターや病院等へ行ける道が記されている。
<https://etizu.net/530/0011/0002/>

エレベーター
の情報もない

京都河原町では、避難所とAEDの場所リンクが記されているだけ。
(<https://gimap.net/kyoto/shimogyo/kyoto-kawaramachi/index>)



マップを作り上げていくためには
地域・みんなの協力と、資金が必要。

京都でもいろんな施設にいけるルートマップを一緒に作りましょう！

実際の活動

目的：地域の人々が過ごしやすい街にするために、高齢者・障害者関わらず、全ての人が暮らしやすい環境を整え、車椅子ルートマップの普及を行なっている。

これを通して、中学生という多感な時期にこのような活動を行うことで、今後の日本を一緒に担う人財になりましょう！

※上記の車椅子ルートマップを使って、中学生と行なっている事業について

- ・車椅子のフィールドワーク
- ・ルートマップの配布活動



「中学生だからできる！プロジェクト」

次のページで説明します！

質疑応答タイム

ワークタイム

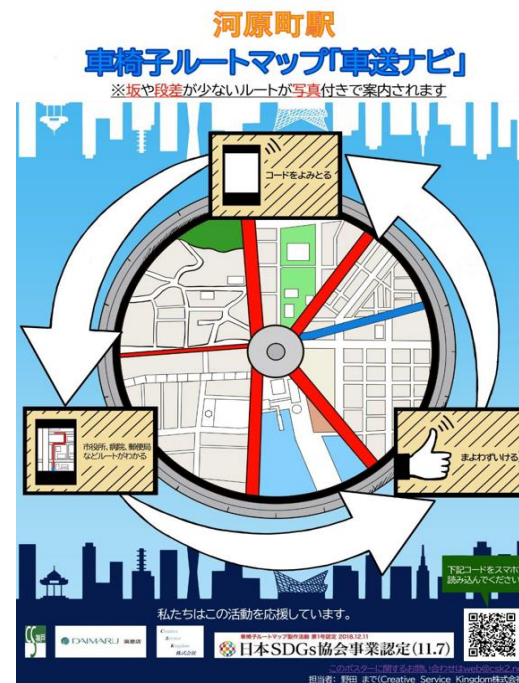
● ルートマップキャッチコピー思考(10分)

例) 迷わない 大きな道で 安全に
無料で使える かんたんで わかりやすい
Nノンバリア Aアドバイス DAデイリーライフ

● NFCタグアイデア思考(10分)

例) スーパーのお得情報をマンションのエントランスに、エレベータに
電車・バスの情報をマンションのエントランスに

これを使ってどんな情報と連携したいですか？



○ 実施方式

- 1, 1学年全体に車椅子体験授業と車椅子ルートマップの配布活動を行う。
- 2, コロナウイルスの感染予防を踏まえた上で、中学2年生の学年から数名募集し、実施する(1、の人数限定版)
- 3, オンライン形式をとり、車椅子の使い方等の授業を実施する。(地域体験やポスター配布活動はコロナが落ち着いた頃に)

○ 実施によって生徒が得られる経験

- ・この活動を行なった中学生は、社会の力になりたいと考える者もあり、「対話」の重要性を感じてくれた。
- ・今後、超高齢化社会に突入するであろう日本において、将来を担う生徒たちに福祉に対する学びを得てもらうことができる。
- ・中学生という多感な時期にこのような経験をすることで、新しい刺激を受け、多角的な視点を身につけることで、成長のきっかけになる。

SDGsを知る ⇒ SDGsを実践する ⇒ SDGsで地域の人達と繋がり、地域が好きになる。